※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3011

令和５年度　工業科

教科	工業	科目	製図Ｂ（ＭＳＥ）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	302 機械製図　（７　実教出版）						
副教材等	機械製図　製図例 CAD データ集 DVD						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

機械の分野で製作図・設計図などを正しく読み、図面を作成する能力と技術を学ぶ。

２　学習の到達目標

製図に関する日本産業規格及び工業の各専門分野の製図に関する知識と技術を習得させ、政策図、設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	各種機械や部品の製作に使用される図面などを作成することに興味・関心をもち、機械製図の意義や役割の理解および諸問題の解決を目指して、主体的に学習に取り組もうとしている。	各種機械や部品の製作に使用される図面などの作成における諸問題を的確に把握（分析)し、考察を深めるとともに、機械製図に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身につけている。	各種機械や部品の製作に使用される図面などの作成に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得するとともに、図面などを正しく読み、作成できる力を身につけている。	機械製図に関する基礎的・基本的な知識を理解し、各種機械や部品の製作に使用される図面等の役割や作図法などを身につけている。
評価方法	①　図面の出来映え・早さ等にもとづいて評価する。 ②　欠果の場合も、補習等を行い同じ枚数の作品を提出させることを原則とする。	①　授業中の注意力・熱意の程度で評価する。 ③　授業中の態度不良は、減点することができる。	図面の出来映え・早さ等にもとづいて評価する。	平常テスト、製図ノート等の課題で評価する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	第2章 製作図	2 図形の表し方 1 図の選び方と配慮 2 断面図示 3 特別な図示法 4 線・図形の省略	○	○	◎	○	a: 図形の表し方・寸法に興味・関心を持ち意欲的に取り組めているか。 b: 図形の表し方・寸法に関する正しい思考・判断ができているか。 c: 製作図が正確に作成できる。 d: 製作図の意義や役割を理解しているか。	出席 授業態度 作品
		3 寸法記入 1 基本的な寸法記入法 2 いろいろな寸法記入法 3 寸法記入についての留意事項	○	○	◎	○		
		4 公差・表面性状 1 寸法公差 2 はめあい 3 幾何公差 4 普通公差	○	○	◎	○		
	実技演習	初期タCAD検定受験対策	○		◎	◎		
		基礎製図検定受験対策	○		○	○		
後期	第3章 CAD製図	3 三次元 CAD 1 三次元 CAD の基本機能 2 三次元 CAD の利用	○	○		○	a: CAD に興味・関心を持ち意欲的に取り組めているか。 b: CAD に関する正しい思考・判断ができているか。 c: CAD による作品が作成できる。 d: CAD の意義や役割を理解しているか。	出席 作品 授業態度
		4 CAD 機械製図規格 1 CAD 製図における注意事項 2 CAD 製図に用いる線	○	○		○		
		Solid Work での作図実習 基本課題29問	○	○	◎	◎ ◎		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b: 思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。